

委員長報告書

委員会名	総務産業委員会
審査年月日	令和 8 年 3 月 6 日
議案名	議案第 10 号 諏訪市議会議員及び諏訪市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公費負担に関する条例の一部改正について
内容	「公職選挙法施行令の一部を改正する政令」の施行に伴い、市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用ビラ及びポスターの作成に要する公費負担の限度額が引き上げられるもの。
主な質疑	問 物価変動に伴い、選挙公営に要する経費に係る限度額の引き上げを行う根拠は。 答 国は、3年に一度、参議院議員通常選挙の際に基準の見直しを行うことになっている。令和 7 年 6 月に引き上げが実施されたことに伴うもの。
討論	無し
審査結果	全会一致可決

委員会名	総務産業委員会
審査年月日	令和 8 年 3 月 6 日
議案名	議案第 11 号 諏訪市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部改正について
内容	地方公共団体情報システムの標準化に伴い、諏訪市の住民基本台帳には登録がないものの、事務処理を行う上で登録・管理が必要となる方々、(いわゆる「住登外者」)を登録・管理するための「住登外者宛名番号管理機能」が全国共通の機能として実装されたことを受け、当該利用事務を新たに本条例に追加するなど、所要の改正が行われるもの。
主な質疑	問 住登外者宛名番号管理機能は、マイナンバーカードと紐付けられているのか。 答 紐付けられていない。
討論	無し
審査結果	全会一致可決

委員会名	総務産業委員会
審査年月日	令和 8 年 3 月 6 日
議案名	議案第 13 号 諏訪市霧ヶ峰リフト事業 特別会計条例を廃止するについて
内容	新年度から霧ヶ峰リフト事業が指定管理者による運営に移行することに伴い、当該事業における経理を一般会計において処理するため、本条例が廃止されるもの。
主な質疑	無し
討論	無し
審査結果	全会一致可決

委員会名	総務産業委員会
審査年月日	令和 8 年 3 月 6 日
議案名	議案第 21 号 諏訪市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
内容	非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令」が施行されることに伴い、消防団員等の損害補償に係る補償基礎額及び扶養に係る補償基礎額の加算額の改正が行われるため、関係する条例の一部に所要の改正が行われるもの。
主な質疑	<p>問 毎年、公務災害補償費は予算計上をしているのか。</p> <p>答 予算計上していたが、実際には使用されることがほとんどないため、本年度から減額した。公務災害が発生した場合は、流用して支払いをする。後に基金から補填されるので支障はない。</p>
討論	無し
審査結果	全会一致可決

委員会名	総務産業委員会
審査年月日	令和 8 年 3 月 6 日
議案名	議案第 22 号 工事請負契約をするについて 及び 議案第 23 号 工事請負契約をするについて
内容	諏訪市文化センター大規模改修工事の電気設備工事・機械設備工事の請負契約について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、議会の議決が求められるもの。
主な質疑	問 一回目の入札は不調だったのか。 答 一回目の入札を、令和 8 年 1 月 8 日に行ったが不調となった。今回のものは、2 回目の結果である。
討論	いずれも無し
審査結果	いずれも全会一致可決

委員会名	総務産業委員会
審査年月日	令和 8 年 3 月 6 日
議案名	議案第 25 号 市道路線の廃止について
内容	国道 20 号諏訪一・二丁目交差点から高島四丁目交差点までの県道諏訪辰野線が令和 8 年 3 月 31 日に移管されることによって、高島四丁目交差点から国道 20 号四賀武津交差点までの県道諏訪辰野線と重用路線となっている市道 1-16 号線が廃止されるもの。
主な質疑	<p>問 重用区間を解除するに至った経緯は。</p> <p>答 今回 1 年間重用をかけて県と共に問題点を確認しながら整理をしてきた。県道移管の手続きが整ったので、重用を解除することとなった。</p>
討論	無し
審査結果	全会一致可決

委員会名	総務産業委員会
審査年月日	令和 8 年 3 月 6 日
議案名	議案第 26 号 令和 7 年度諏訪市一般会計補正予算(第 9 号)
内容	<p>総務費は、補正額1億4,332万4,000円で、総務管理費の一般管理費に、退職手当を計上するとともに、財産管理費には、追加交付となった普通交付税の財源を活用し、財政調整基金積立金及び減債基金積立金が追加計上された。</p> <p>企画費には、企業からの寄附金を企業版ふるさと納税基金に積み立てる経費等が計上されるとともに、定額減税不足額給付金費については、事業費の確定に伴い減額計上がされた。</p> <p>農林水産業費は、補正額7,597万9,000円で、農業費の農業振興費に、農業の構造転換の実現に向けた信州諏訪農業協同組合が実施する共同施設の再編集約・合理化事業に対する補助金について、令和8年度分の前倒し分の経費が計上された。また、農地費には、諏訪平土地改良区農地基盤整備事業に係る事業費の確定に伴い、県営土地改良事業分担金が減額計上された。</p> <p>商工費は、補正額3,400万円で、商工費の商工業振興費に、中小企業への支援を目的とした寄附金を受けたことに伴い、この寄附金を財源として新技術・新製品開発費補助金が追加計上されるとともに、中小企業振興資金及び長野県制度資金の信用保証料補給金の不足分が計上された。</p> <p>観光費には、諏訪湖祭湖上花火大会の栈敷席売上の増収などに伴い、大会負担金の全額が減額されるとともに、花火大会の安全対策の一環として、新たに初島の改修に要する経費が計上された。また、寄附金を受けたことに伴う産業振興事業基金への積立金が計上された。</p> <p>土木費は、補正額2億3,396万3,000円で、土木管理費に、大手町踏切への点字ブロック設置工事に係る負担金及び県道諏訪白樺湖小諸線の道路整備に係る県事業土木工事負担金が追加計上された。道路橋梁費には、国の補正予算によって措置されたことに伴う道路改良事業費及び橋梁長寿命化事業費の令和8年度事業の前倒し分が計上されるとともに、国の交付金の内示額等に合わせた事業費の減額も併せて行なわれた。</p> <p>河川費についても、国の補助金の内示額に合わせて自然災害防止事業費</p>

	<p>が減額計上された。また、都市計画費の都市計画総務費には、同様に国の補正予算に伴う前倒し分として立地適正化計画改定事業費が新たに計上された。</p>
<p>主な質疑</p>	<p>問 予定外の退職による、人事への影響はないのか。</p> <p>答 現在は通年採用制度を実施している。上半期に欠員があれば、下半期に募集できるため、令和 8 年 4 月 1 日時点においては予定どおりの人数が確保出来ている。</p> <p>問 新技術・新製品開発費補助金について、何件の申請があったのか。</p> <p>答 12 社から申請があり、すべて採択とした。予算の都合で一部採択となったものもある。</p> <p>問 初島の改修はアングルを脱着式にすることはせず、あくまで基礎の整備のみか。</p> <p>答 初島の 10 号玉花火打ち上げのための筒を立てる地盤について、長年の使用により劣化した基礎部分を修繕する。アングルについては引き続き研究していきたい。</p> <p>問 橋梁長寿命化事業が行われるのはどこか。</p> <p>答 新舟渡橋、半の木中央橋、宮川八龍橋の 3 か所の修繕を予定している。</p> <p>問 その後の予定は。</p> <p>答 道路法に基づく定期点検の結果によって修繕する橋の順番や修繕する橋梁が増える可能性もあるが、令和 9 年度に 3 橋、令和 10 年度には、1 橋の大規模修繕を予定している。</p> <p>問 蓼の海公園<small>あずまや</small>の四阿<small>あずまや</small>の更新を予定していたが、入札が不調となったことから、計画に基づき、別の施設の更新に振替えて実施することとしたとの説明があったが、蓼の海公園<small>あずまや</small>の四阿<small>あずまや</small>の更新はしないのか。</p> <p>答 資材搬入が困難な場所とのことで、金額に大きな開きがあり不調となった。違う工法で四阿<small>あずまや</small>の修繕を検討し、来年度予算に計上する。</p>
<p>討論</p>	<p>無し</p>
<p>審査結果</p>	<p>全会一致可決</p>

委員会名	総務産業委員会
審査年月日	令和 8 年 3 月 19 日
議案名	議案第 27 号 令和 7 年度諏訪市一般会計補正予算(第 10 号)
内容	議案第 26 号 令和 7 年度諏訪市一般会計補正予算(第 9 号)において増額補正を提案された、商工費の中小企業振興資金及び長野県制度資金に係る信用保証料補給金について、物価高騰による資金需要の増加や今後の金利上昇等を見据えた中小企業者等による借入の急増に伴い、さらに事業費が増加する見込みとなったため、不足額が追加計上された。補正額は 2,000 万円。
主な質疑	<p>問 2,000 万円と決めた細かい理由は。また、この額で足りるのか。</p> <p>答 年度末の駆け込み需要の様子からあきらかに現行の予算額では不足してしまうことがわかり、長野県信用保証協会にて年度末までの試算をしていただいた。その最大値を補正予算額としたため、この額で足りると判断した。</p> <p>問 これによって中小企業の資金繰りはどのように改善されると見込んでいるか。</p> <p>答 融資申請の際に使い道を伺っている。手元の資金を厚くしたいや、4月のベースアップに備えたい、物価高が長期化する中で手元の資金を増やして経営安定をはかりたい、等の意見をいただいている。</p>
討論	無し
審査結果	全会一致可決